

外国にルーツのある子どもに対する学習支援の現在 一国内外の実践事例の紹介と今後の方向性について

グローバル化の進展とともに、外国にルーツのある子どもに対する学習支援は、日本だけでなく海外でも重要な教育課題となっています。本企画では、国内外で行われている外国にルーツのある子どもに対する学習支援の実践事例を紹介し、多様な言語的・文化的背景を抱える子どもの教育の充実化に向けて、今しなければならないことについて参加者とともに考えます。

令和8年

2月21日(土)
13:30~16:00

講師



中山 あおい

大阪教育大学 多文化教育系
グローバル教育部門 教授
筑波大学大学院教育学研究科博士後期課程単位取得退学。専門は比較・国際教育学。主にドイツ語圏の移民背景のある子どもの教育について調査研究しながら、日本の外国にルーツのある子どもの教育について考えています。



米澤 千昌

大阪教育大学 多文化教育系
グローバル教育部門 准教授
大阪大学大学院言語文化研究科博士後期課程修了。博士（日本語・日本文化）。外国にルーツのある子どもの学びを支援する日本語教育のあり方についての研究をしています。



藪田 直子

大阪教育大学 多文化教育系
初等教育部門 特任准教授
大阪大学大学院人間科学研究所博士後期課程修了。博士（人間科学）。専門は教育社会学。本学では人権教育、ダイバーシティ尊重などに関する科目を担当しています。



小林 和美

大阪教育大学 多文化教育系
社会科教育部門 教授
神戸大学大学院文化学研究科博士課程単位取得退学。博士（学術）。専門は社会学・地域研究。日本や韓国での現地調査を通じて、外国にルーツのある子どもの育ちや地域での共生に関する研究に取り組んでいます。



櫛引 祐希子

大阪教育大学 多文化教育系
グローバル教育部門 准教授
東北大学大学院文学研究科博士課程後期修了。博士（文学）。日本語の地域語（方言）の研究を通して、多文化共生社会における言語の多様性に関心を寄せています。

スケジュール

13:00~ : 参加者受付開始

13:30~16:00: セミナー

○第一部 (65分)

- 開会の挨拶と趣旨説明 (5分)
- 発表 (日本国内3件×20分)
 - ・米澤; 日本の学校での日本語学習支援の実践例の紹介
 - ・藪田; 学校外・地域における学習支援の実践例の紹介
 - ・櫛引; 大阪教育大学とNTT ExCパートナーによるサバイバル日本語学習教材「アプリでほんご」について

○休憩 (10分)

○第二部 (75分)

- 発表 (海外2件×20分)
 - ・中山; ドイツでの学習支援と教育政策
 - ・小林; 韓国での学習支援と教育政策
- 参加者との意見交換会 (30分)
- 閉会挨拶 (5分)

対象・定員等

教育委員会関係者・学校関係者

学校支援人材・一般 の方

(参加形式: 対面のみ 定員: 50名)

会場・アクセス

大阪教育大学 天王寺キャンパス
みらい教育共創館 3階 未来型教室

JR天王寺駅、地下鉄天王寺駅、近鉄大阪阿部野橋駅下車、約650m
JR寺田町駅下車、約400m



申込方法

<https://forms.gle/zeMuqNmdodmRKaVL7>

以下のURLもしくは右記のQRコードより、申込みフォームにアクセスしてください。

申込期限 2月13日(金)まで

